



輪島塗

厚手の木地に生漆と米糊を混ぜたもので布を貼って補強し、生漆と米糊、そして焼成珪藻土を混ぜた下地を何層にも厚く施した「丈夫さ」に重きをおいて作られている漆器である。



キリコ祭り
キリコまたは奉燈と呼ばれる高さ数メートルの巨大な灯籠を使うことを特徴とするものである。主として7月から10月に掛けて夏祭り・秋祭りとして行われており、疫病退散を願って始まったとされるものが多い。



能登の郷土料理（春蘭の里）
キノコ、山菜、川魚など此処でしか採れない食材を使い、漆器に盛りつけて味わうことで、石川、能登の食文化を体験することが出来る。



文部科学省「大学間連携共同教育推進事業」選定取組
「学都いしかわ・課題解決型グローバル人材育成システムの構築」
連携：大学コンソーシアム石川 地域課題研究ゼミナール支援事業
石川工業高等専門学校：村田ゼミ

器と食と祭 を楽しむ 2泊3日

金沢

募集対象：石川県内の大学生

<開催日程>

平成27年9月1日(月)～3日(水)

応募締め切り 6月30日(火)

主催：金沢美術工芸大学 中村研究室

参加費：3500円(別途食費)

定員：10名

(要予約、定員になり次第締め切ります。)

*下記メールアドレスまで氏名、所属大学、連絡先(携帯電話、アドレス)をご記入の上お申し込み下さい。

お問い合わせ：金沢美術工芸大学 工芸科 中村有希 (076-262-3825 nakamura@kanazawa-bidai.ac.jp)

●教育プログラム 漆の器と石川の食

工芸の文化が深く根付いている石川県で“うつわ”というツールを使いながら食文化を学び、自分たちの暮らしている土地と食生活を体感しながら考えることを目的としています。

今年度は、「膳椀と郷土料理」「祭礼の食事と漆器」という2点から石川の食文化を考えていくことで、世界共通の“食”というテーマを軸に石川の文化を発信できるような視野を広げていく体験ツアーを行います。

スケジュール(予定)

9/1 金沢美術工芸大学 9:00→膳椀学習(輪島漆芸美術館)→郷土料理体験(春蘭の里)

9/2 キリコ祭準備→ヨバレ体験(中谷家)

9/3 漆蔵見学(中谷家)→金沢美術工芸大学 17:00